

脳卒中地域連携パス バリエーション集計報告

2008/04/01～2016/03/31

バリエーションとは

バリエーションは、「アウトカムが達成されなかったとき」

～BRAIN2012/2VOL.2NO2～

備後地域連携クリティカルパスのアウトカム

発症から一年間脳卒中治療が行われること



備後地域連携クリティカルパスのバリエーション

- ・死亡
- ・再発

(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血が起こり急性期に再入院する)

- ・再入院

(心疾患、肺炎、骨折、がん治療等で再入院)

対象

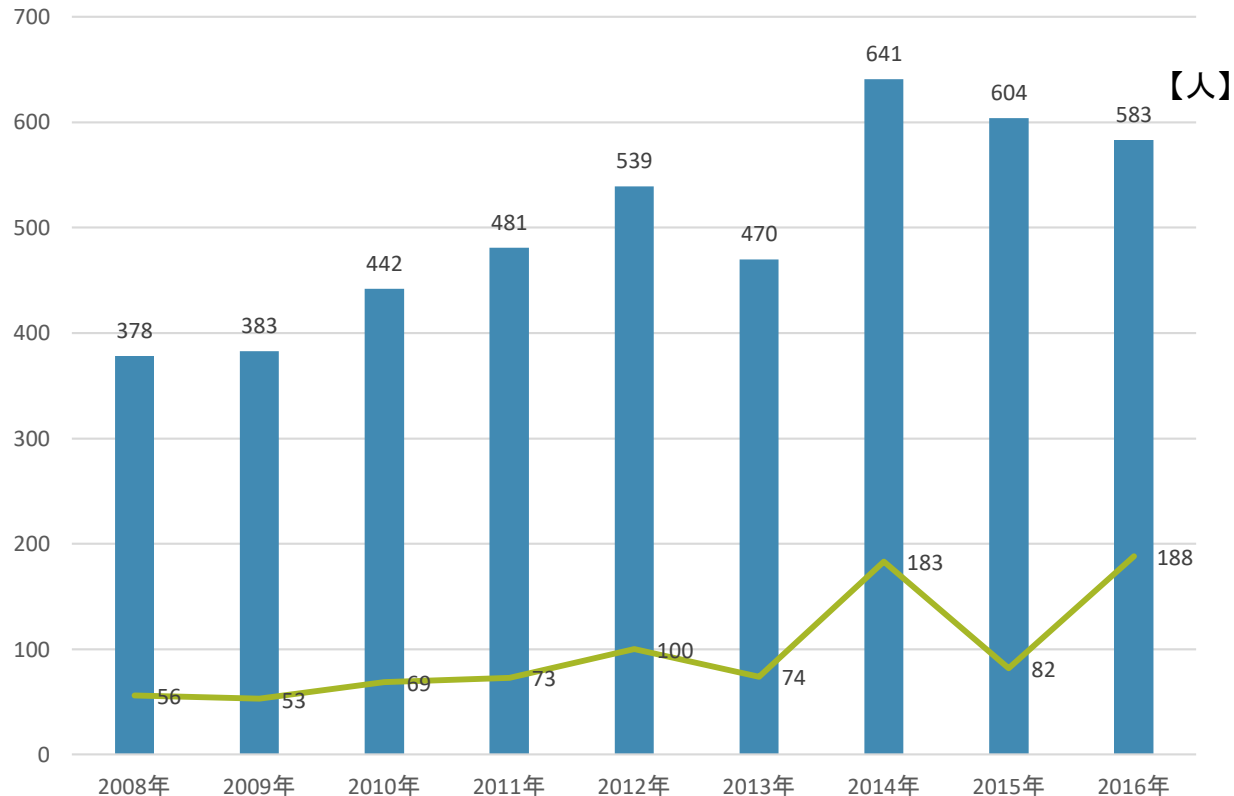
期間 : 2008年4月～2016年3月

対象 : 6960件

NPO法人備後脳卒中ネットワークへ会員登録している急性期病院(5カ所)より発生した「備後脳卒中地域連携クリティカルパス使用者」

バリエーション発生数

- バリエーション発生割合は、パス発行数の約15%



パス中止の理由

- ・2008年のパス中止の多い理由は死亡
2011年から再入院(再発ではない)がパス中止の主な理由となっている

